

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第30号 H29. 9. 1

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



先生だって理科が好き！夏の理科観察・実験研修講座【A班】が行われました

8月22日（火）に『先生だって理科が好き！夏の理科観察・実験研修講座【A班】』がミュージアムパーク茨城県自然博物館で行われました。この講座は、生物的領域・地学的領域の観察・実験講座です。学習指導要領解説理科編でも博物館との連携が重要であると示されています。自然博物館の稲葉伸一郎教育課長さんからは博物館の役割と学校現場との連携についての講話をいただきました。受講者は熱心にメモをとりながら聴講していました。観察・実験では、主任学芸主事の方から、学校現場で実践できる生物・地学分野の授業提案をいただきました。

博物館を活用した地学領域の指導 木の葉化石のクリーニング



▲スタディールームの様子



▲木の葉化石のクリーニングの様子

地層の剥ぎ取り

標本作り

剥ぎ取り標本を作成するためのレクチャーを受けました。近隣に地層の観察に適した露頭がないときや、観察会を行う時間がないときには、地層の剥ぎ取り標本を作ると便利です。



▲地層を剥ぎ取った様子

＜剥ぎ取り標本の作り方＞ 剥ぎ取りたい地層を噴霧器でしめらす→剥ぎ取りたい地層の上から専用の液体を大きめの刷毛で塗る→ガーゼ(30cm×2m)を被せ、もう一度、ガーゼの上から専用の液体を刷毛で塗る→約5時間後にガーゼを剥がす

博物館と連携した生物領域の観察・実験 野外での昆虫観察と同定

野外で虫取り網をもち、トンボやバッタ、蝉などを捕まえました。その後、捕まえた生き物の名前の同定を、図鑑を使ったり学芸主事の先生方にアドバイスをいただいたりしながら行いました。トンボはたくさんの種類がありますが、頭や体の模様の特徴をよく観察して、同定することができました。ミュージアムパークでは授業で使える昆虫の標本の貸し出しも行っていきます。



受講者の声

「博物館を利用してみたいと思える内容でした。実習、観察・実験がたくさんあり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。教師であることを忘れる程、初心に戻れた楽しい1日でした。すぐにも実践できる事柄が多くあり、参考になりました。」などの感想が寄せられました。

